

# 令和5年度中学生チャレンジテスト（1・2年生）の結果概要

大阪府教育庁

○内容

- ・中学校第1学年：国語、数学、英語、生徒アンケート
- ・中学校第2学年：国語、社会（選択問題A・B）、数学、理科（選択問題A・B）、英語、生徒アンケート

○対象

- ・府内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程
- 及び府立中学校並びに支援学校中学部の第1学年及び第2学年

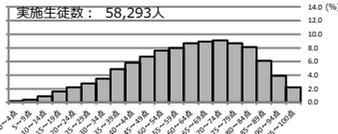
○実施校数(1月10日実施分)

- ・中学校第1学年：468校
- ・中学校第2学年：473校

○実施生徒数(1月10日実施分)

- ・中学校第1学年：58,517人
- ・中学校第2学年：57,751人

## 中学校1年(国語)



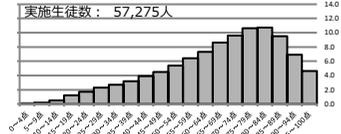
平均点 **60.8点**  
無解答率 **9.6%**

- 良好** □ 文脈の中における語句の意味を的確にとらえること。  
□ 文と文の意味のつながりを考えながら、適切に接続語を用いること。
- 課題** ■ 聞き手を意識し、自分の考えが明確に伝わるように表現を工夫すること。  
■ 読み手の立場に立って、文章を整えること。  
■ 文脈に即して正しく漢字を書くこと。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★スピーチ等では、何を伝えたいのか、聞き手はどう伝わるか、また集めた材料や自分の感じたことをどのような順序で伝えるのかを考えるとともに、根拠が明確になるよう構成しましょう。
- ★行事の案内文などを書くときは、それを対象とする人に伝わる表現の仕方がどうかを確かめながら、文章を読み返すようにしましょう。

## 中学校2年(国語)



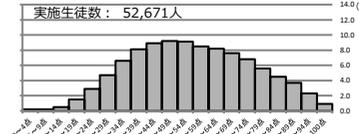
平均点 **66.8点**  
無解答率 **8.3%**

- 良好** □ 文章の中で、接続詞の働きを理解すること。  
□ レポートの内容にふさわしい見出しを考えること。
- 課題** ■ 目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にし、整理して書くこと。  
■ 古典の文章全体から部分の意味を考え、内容を理解すること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

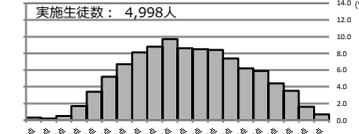
- ★他人に自分の意見や考えを伝えるときは、自分の立場を明確にし、聞き手はどう伝わるかを考えるようにしましょう。
- ★古典を読むときには、現代語訳や語注をてがかりに、主語と述語を考えたり、登場人物の心情などを想像しながら読んでみましょう。

## 中学校2年(社会A)



平均点 **54.2点**  
無解答率 **3.5%**

## 中学校2年(社会B)



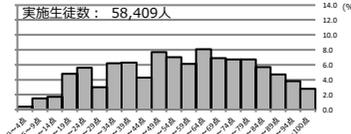
平均点 **53.4点**  
無解答率 **4.0%**

- 良好** □ サング礁や過疎化など、地理に関わる事象に関する基礎的・基本的なことがらを理解すること。
- 課題** ■ 地理に関わる事象について、表やグラフなどで示された情報などを正確に読み取ること。  
■ 歴史に関わる事象について、人物や当時の政策などに着目して考察すること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★社会的事象について、資料から読み取ることができる情報を、比較したり関連付けたりしながら考えてみましょう。
- ★歴史的事象について、起こった背景や原因を考えてみましょう。また、年表を見るときは、それぞれの事象にどのような繋がりがあがるかを考えてみましょう。

## 中学校1年(数学)



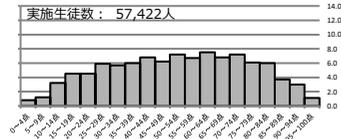
平均点 **54.7点**  
無解答率 **10.3%**

- 良好** □ 負の数の加法をすること。  
□ 文字式を $\times$ や $\div$ を使わずに表すこと。
- 課題** ■ 具体的な事象において、数量の関係をとらえ文字を用いた式で表すこと。自分の考えた文字式について、どのように導いたのかを論理的に説明すること。  
■ グラフから必要な情報を読み取り、2つの数量がどのような関係にあるかを説明すること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★数量の関係を文字を用いて表した時には、その文字式が正しいか、具体的な数を文字に当てはめて式が成り立つか確認してみましょう。
- ★比例や反比例など、2つの数量の関係や変化の様子などについて、数学的な言葉を用いて書き表してみましょう。

## 中学校2年(数学)



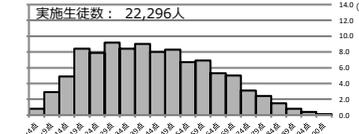
平均点 **52.2点**  
無解答率 **12.0%**

- 良好** □ 連立二元一次方程式の解を求めること。  
□ 多角形の外角の意味を理解すること。
- 課題** ■ 一次関数のグラフについて、何を表したのかを捉えること。また、2つの数量がどのように変化しているかを考えること。  
■ 自然数の倍数について、文字を用いて表した式を変形すること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

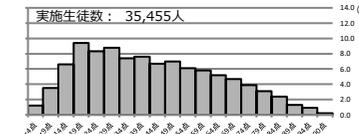
- ★様々なグラフについて、縦軸や横軸が何を表しているのかを確認し、グラフが変化した箇所や複数のグラフの交点などが何を表しているのか考えましょう。
- ★あることから文字を使って表したり、式に使われている文字の意味を言葉で表したりしてみましょう。例えば、 $n$ の倍数は $n \times$ （整数）で表すことができます。

## 中学校2年(理科A)



平均点 **40.2点**  
無解答率 **11.3%**

## 中学校2年(理科B)



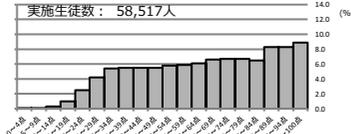
平均点 **40.3点**  
無解答率 **11.8%**

- 良好** □ 化学かいるの中で、鉄が空気ふれたときに起こる化学変化について理解すること。
- 課題** ■ 観察や実験の結果を根拠として考察すること。  
■ 化学変化における物質の変化やその量的な関係について理解すること。  
■ 実験結果を身の回りの様々な事象と関連付けて考察すること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★観察や実験を行う際は、自分で予測を立ててみましょう。また、その予測と結果の違いを比較しながら考察するようにしましょう。
- ★理科の学習で得た知識を活用し、物質を加熱したときの化学変化や、水の状態変化などについて、言葉で表してみましょう。

## 中学校1年(英語)



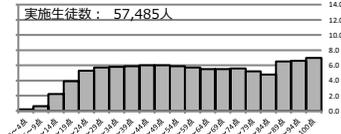
平均点 **64.1点**  
無解答率 **4.9%**

- 良好** □ 短い会話文などが表す内容を聞き取ること。  
□ 日常的な話題についての簡単な英文を読み取ること。
- 課題** ■ まとまりのある英文を読み、読み取った情報を整理し、必要な情報をとらえること。  
■ 日常的な話題について英語で書かれた表と会話文を読み取り、概要を捉え、内容に関する質問に適切に答えること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★英語は日本語と同じように、会話や文章中で前に出てきた物や人のことを代名詞を使って言い換えます。英文を読むときは、代名詞が何を指示しているのかを考えましょう。
- ★話題の中心が何かを捉える際は、まず、キーワードとなる言葉を見つけ、英語の会話や文章の大まかな内容を考えましょう。

## 中学校2年(英語)



平均点 **57.1点**  
無解答率 **8.9%**

- 良好** □ 日常生活についての会話文を聞き取ること。  
□ 自己紹介と会話文を読み、話の概要を捉えること。
- 課題** ■ Eメールを作成する際、正しい語句や文法を用いて英文を書くこと。  
■ 会話文を読み、やり取りの場面を理解したうえで、How、Whenなどの疑問詞を適切な文法を使って、会話の流れにあう英文を書くこと。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★英語と日本語では、1文の中で語順が異なります。英文を書くときは、日本語との語順の違いに気をつけて書くようにしましょう。
- ★英語で疑問文を作るときは、問いたい内容に応じて、主語や動詞が適切に使われているかどうかを確認してみましょう。

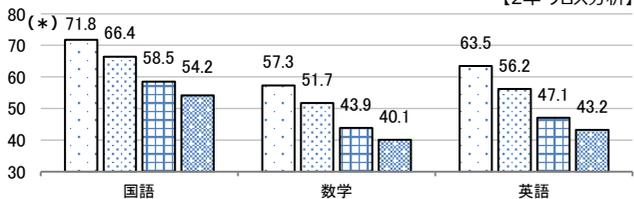
今回の生徒アンケート結果（1・2年生）とクロス分析の結果です。クロス分析とは、生徒アンケートと教科得点の2つの項目の結果を掛け合わせて比較し、どのような関連があるかを分析する方法です。（\*）例えば、アンケート項目1.で「当てはまる」と回答した生徒の国語の平均点が71.8点であることを示しています。なお、2年生の国語・数学・英語のクロス分析を掲載していますが社会・理科、また、1年生のクロス分析も同様の傾向がみられました。

### 学習する際のポイントについて

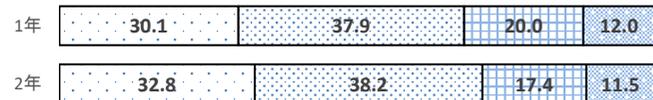
#### 1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



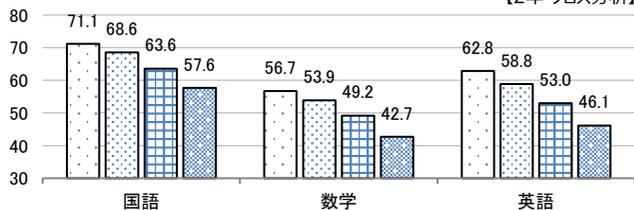
（点）  
 □1 当てはまる  
 □2 どちらかといえば、当てはまる  
 □3 どちらかといえば、当てはまらない  
 □4 当てはまらない 【2年 クロス分析】



#### 2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



（点）  
 □1 当てはまる  
 □2 どちらかといえば、当てはまる  
 □3 どちらかといえば、当てはまらない  
 □4 当てはまらない 【2年 クロス分析】

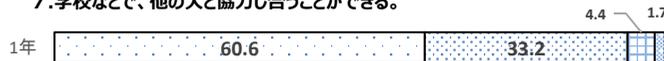


学習する際、多くの生徒が文章や資料の大事なところを考えながら読んで、わからないことを図書館資料やインターネットで調べていることがわかりました。また、より肯定的な回答をした生徒ほど教科のテストの平均点が高い傾向にあることがわかります。

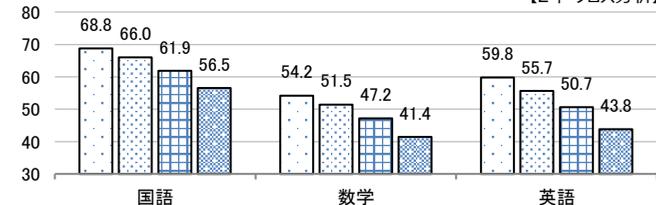
文章や資料を読むときは、大事なところや疑問などに異なる印をつけるなどして読むことが大切です。また、わからないことがあった時は、インターネットだけでなく、正しい情報が載っている図書館資料も合わせて効果的に活用して調べると、より理解が深まります。

### 学校などでの様子について

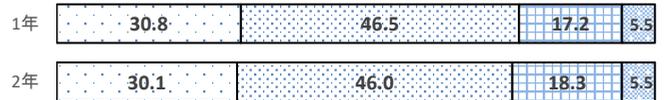
#### 7. 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



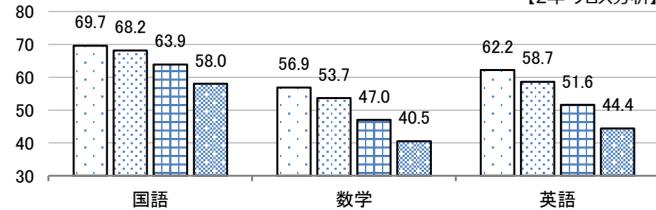
（点）  
 □1 当てはまる  
 □2 どちらかといえば、当てはまる  
 □3 どちらかといえば、当てはまらない  
 □4 当てはまらない 【2年 クロス分析】



#### 8. 難しいことがあっても、あきらめない。



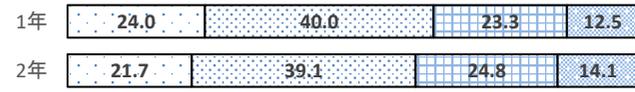
（点）  
 □1 当てはまる  
 □2 どちらかといえば、当てはまる  
 □3 どちらかといえば、当てはまらない  
 □4 当てはまらない 【2年 クロス分析】



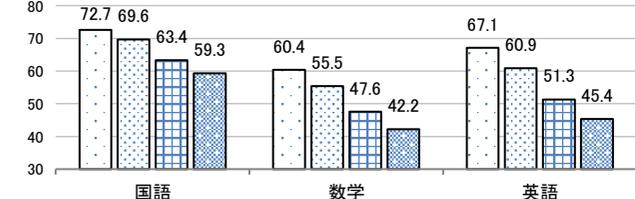
学校などでは、多くの人が他の人と協力し合うことができたり、また、難しいことがあってもあきらめないことがわかりました。それらに肯定的な回答をした生徒ほど教科のテストの平均点が高い傾向にあることがわかります。学校生活の中で、最後まであきらめずに取り組むことは、生徒のみさんの学力を支えるものと考えられます。また、学習する際に、自分の考えを他の人に伝えたり、相手の意見から自分の考えを広げたりするなど、協力して学習することで、自分の力を伸ばすことにつながると考えられます。

### 家庭での過ごし方について

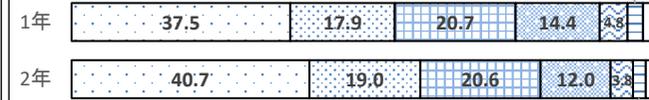
#### 5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



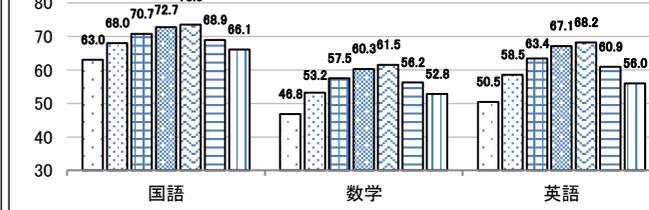
（点）  
 □1 当てはまる  
 □2 どちらかといえば、当てはまる  
 □3 どちらかといえば、当てはまらない  
 □4 当てはまらない 【2年 クロス分析】



#### 11. 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNSなど）にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



（点）  
 □1 4時間以上  
 □2 3時間以上、4時間より少ない  
 □3 2時間以上、3時間より少ない  
 □4 1時間以上、2時間より少ない  
 □5 30分より少ない  
 □6 スマートフォンやタブレットを持っていない  
 □7 スマートフォンやタブレットを持っていない 【2年 クロス分析】



自分の苦手なところは何かを考えながら学習する生徒は平均点が高い傾向にあることがわかります。また、家庭での過ごし方として、スマートフォンなどを1日4時間以上使っている生徒が一定数いることがわかりました。家で単に宿題をするだけでなく、自分に必要な学習を考えながら勉強することで力がついていきます。また、スマートフォン等については、1日1時間以上、使えば使うほど、平均点は低くなる傾向があることがわかります。適度に使用することで気分転換になることもありますが、必要以上に使用することは控えましょう。

